

第16回多摩川一斉水質調査結果報告(速報)



当フォーラム会員と平岡副会長(写真右)
(調査地点13番・杣の小橋真下にて)

美しい多摩川フォーラムでは、2023年6月10日(土)、第16回目となる「多摩川一斉水質調査」を実施しました。調査地点は多摩川の源流域(丹波山村・小菅村)から下流域(川崎市)までの本・支川32ヵ所で、簡易調査キットを使い、COD値(化学的酸素要求量の略：有機物による水質汚染の程度を示す指標で、水が有機物で汚れていると数値が高くなる)を調査しました。

また、COD調査に続いて、渡邊環境清流部会長のご協力により、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率(EC)を調査しました。

当日は、フォーラム会員ほか東京都立青梅総合高等学校を含め総勢53名にご協力いただき、無事水質調査を終了することが出来ました。最終的な調査結果(確報)は現在集計中ですが、例年どおり11月に公表する予定です。

調査当日の様



朝6時半、当フォーラム会員と平岡副会長が13番・杣の小橋真下に集合。梅雨に入ったばかりで水量が増している多摩川で、水温を計って採水をおこないました。



調査会場は今年も青梅信用金庫の本店ギャラリーをお借りしました。



採水した水と調査票を受付で預かります。



各地で採水された水が一行に並びます。



次に、採水された水のCOD値を測ります。



時間を計りながら試薬の色の変化を確認し、1地点につき合計3回のCOD値を測定します。



子どもも大人の手を借りながらCOD値の測定にチャレンジ！

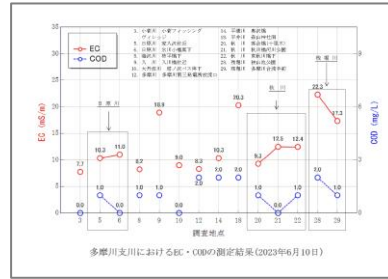


初めての体験でドキドキしながら、化学実験のように調査を進めました。

3. 第16回多摩川一斉水質調査結果(速報・32地点)グラフ



多摩川本川のEC・COD



多摩川支川のEC・COD

グラフをクリックすると拡大したグラフがご覧いただけます。

【参考】水質調査等の方法

水質調査の方法については、[こちら](#)をご覧ください。